

やましんかわら版は  
山新販売店と読者を結ぶ  
ミニコミ紙です

# やましんかわら版

発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

新聞休刊日のため7月18日(火)付朝刊はお休みさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。



〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7  
《ホームページ》<http://www.yamashinhanbai.jp/>  
《メール》[kawaraban@yamashinhanbai.jp](mailto:kawaraban@yamashinhanbai.jp)  
読者お問い合わせ窓口  
TEL.023-635-6111 (山新販売内)

今月の  
いちばん  
情報!!

## 人気はクラゲだけじゃない 加茂水族館のもうひとつの魅力



モンテディオを  
応援しよう!!  
ホームゲーム日程

会場/NDソフトスタジアム山形

節	対戦カードと日時	
第24節	7/22(土)18:00 湘南ベルマーレ	
	チケット販売中	
第27節	8/11(金)18:00 ツエーゲン金沢	
	7/8チケット発売	

芸のタイミングは息ぴったり! 飯野由梨さんとアシカの掛け合いからは、お互いへの信頼を感じます。

2014年6月のリニューアルオープンから4年目を迎えてすでに来場者数は200万人を越え、全国区となった鶴岡市立加茂水族館。世界一のクラゲ展示種類数で、山形県が誇る水族館です。しかし、同館の楽しみはクラゲだけではありません。海獣アシカが繰り広げるショーも、忘れてはならないもう一つの名物。その魅力に迫るべく、トレーナーの飯野由梨さんに話を聞きました。

### Q、そもそもアシカって?

▶水中生活に適応したほ乳類で、流線型の体と四肢がヒレに変化しているのが特長の海獣です。日本でいうアシカは、そのほとんどがカリフォルニアアシカ。以前は日本近海にもニホンアシカが生息していたようですが、残念なことに現在は絶滅種とされています。また近年は、動物保護の観点からアシカの捕獲などが非常に難しくなっています。そのため私たちにとって、現在国内にいるアシカをいかに繁殖させるかが課題。輸入が困難となった今、ある意味アシカは希少な存在なのです。

アシカはほ乳類の中でも高い知能を持っていて、個体差はありますが、イルカと並び高度な芸を覚え楽しいショーを披露してくれます。当館でも33年前からアシカショーを導入。時代とともに

に人気海中動物は移り変わりますが、今もなお多くの方に親しみを持ってご覧いただけているようです。

### Q、芸はどうやって教えるの?

▶基本的には、トレーナーの出すサイン通りの行動をしたら餌をあげることの反復です。例えばバイバイを教える場合、まずはアシカの前足を触ります。触ったら餌をあげることを繰り返していくと、手に触れたら餌が貰えることを覚えます。次に触らずに手を少し高い位置に差し出すと、アシカは前足を高く上げるようになります。今度は1度タッチしてもOKしないで手を出していると、アシカは私たちの手に何度も前足で触れてきます。これをまた繰り返していけば、皆さんがショーでよく見るような、バイバイのポーズができるようになります。

このように、繰り返しの訓練を徐々に変化させていくことで、アシカはさまざまな動きができるようになるのです。芸を教えるにはかなり根気が必要ですが、何もできなかった子が突然芸ができるようになった時は、大きな達成感があります。専門学校卒業後に入社してから、ずっとアシカ担当をやっていますが、何年たってもその瞬間の喜びは変わりません。そして観客を前にしての本番でその芸が成功すると、「よくやったね」と

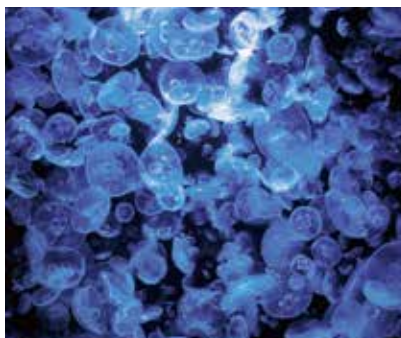
心から褒めてあげたくなります。

また、いつも感心させられるのが、観客の方に目をやりながらも、彼らはきちんと私たちのサインを確認しているところ。私たちのサインは、他の動物のショーと比べて非常に小さいのです。なのに、そのサインを見逃さないのですから、すごいですね。私たちがいつ合図したのか? そのタイミングを見破るとい見方も、ショーの楽しみ方の一つかも知れませんね。

### Q、今期はどんなショーが繰り広げられるのでしょうか?

▶今年3年後に開かれる東京オリンピックをイメージした芸を展開しています。アクションの大きなものを考えていますので、きっと楽しいと思いますよ。また、ショーの中にはお客さまが参加できる内容のものも取り入れています。参加された方は、アシカを間近で感じるすることができますよ。

そして、今期からはまだ小さな子どものアザラシも一緒にショーへ出演しています。機敏なアシカ、かわいらしい子アザラシの対比も楽しんでいただけるのではないのでしょうか。動物との信頼関係で成り立つ私たちの芸を、ぜひ会場でご覧になっていただきたいですね。



左/クラゲの展示も圧巻。真夏の暑さを忘れさせてくれる、涼しげなクラゲの姿もお忘れなく。

中/今期から、アシカとともにステージに立つ、アザラシのももこちゃん。かわいらしさが人気を呼んでいます。

右/インタビューに応じてくれた、アシカトレーナーの飯野さん。動物好きが高じて、今の仕事に就いたとのこと。

### 鶴岡市立加茂水族館

住所/鶴岡市今泉大久保657-1 電話/0235-33-3036

営業時間/9:00~17:00 ※夏休み期間~17:30

<http://kamo-kurage.jp/>